

①

※総第 014669号001公館宛

※昭和 61年 3月 22日 11時 38分 22秒 受付

暗 略

秘 無期限

(回覧番号)

電 信 案

電信課長

大臣 秘書官
政務次官
事務次官
外務審議官
外務審議官
官房長

主管 アジア局長
審議官
参事官
北東アジア課長
地域調整官
首席事務官

※発電係 1-2
起案 昭和61年2月19日
起案者 鈴木(通) 電話番号 2420

(※印欄内は電信課記入)

在 韓 国 御 巫 大 使 総 領 事 へ 外 務 大 臣 発

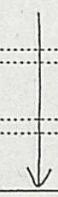
件名 ツシマ イキ 対馬・壱岐における元朝鮮半島出身者埋葬遺骨問題

主管・文書記号 ア北 ※電番 第267号 大至急 至急 普通 (優先処理) パターン・コード

転電・転送・転報 在 ※転電番号 大至急 至急 普通 (優先処理) 大 使 ・ 総 領 事 へ

(八〇字)

客年貴電沖1668号に肉し。



(昭和六〇・十一・一改正)

01466954 優先 KANKOKU 漢

GB-1

外務省 (注意) 1枚目は、機械で処理しますので、折り曲げない様願います。

(三〇〇年)

1. (1) 現在、本件遺骨は、58年・59年にわたり外務

・厚生両省において調査・発掘した45柱が

徳島の芦辺町納骨堂に仮安置されている他、

51年に民間団体が徳島より発掘（右発掘に

際しては、長崎県の担当職員の下合いの下に

上記外務・厚生両省の調査・発掘の際と同

一の地元住民の協力を得た由）した80数柱

が広島県の寺（ ）に仮安置されてい

る。

（上記双方の遺骨は、徳島の地元住民の証

言及び発掘場所等同一条件下で発掘さ

れたものであり、いずれも朝鮮半島出身

者のものであると極めて高い確度で推

定し得るものがある。）

(2) 我が方としては、外務・厚生両省発掘の45

外務省

GB-3

る。

三〇〇
年

程については、早期に韓国政府に返還をべく
既に韓国政府より引取り意思の確認を得て
いるものの、石遺骨の埋葬に伴う経費負担に
つて、内閣府の調整がつかないままとなっ
ています。

(3) しかしながら、このまま放置すべき問題で
はなく、人道的見地よりも早急に本件遺骨（
民間団体の発掘した遺骨も含め）は韓国政
府に返還し、故郷でぬんごりに埋葬されるべ
きものと考えています。

よ、については、貴館より韓国側に対し、上記1.の状
況をふまえて、次の点を再度照会ありたく、
結果回電ありました。

(1) 当方としては上記1.(1)のしだもあり、民
間団体の発掘した遺骨も併せて韓国政府に返

GB-3